

防災・BCPアップデート講座（5）

非常時優先業務の選定①



【講師略歴】

BB.univ 学長 WOTA株式会社 防災・BCP担当室長 森 健

- ・ 1966年東京都出身。開成高校・慶応義塾大学法学部卒業。
- ・ 静岡県下田市役所、静岡県庁防災局出向（現：危機管理部）を含め、約12年間地方自治体で実務経験を積む。その後企業へ転職。
- ・ 自動車部品グローバルメーカーである住友電装株式会社においてグローバルなリスク管理体制の再構築を手掛けるなど、複数社で管理職としてリスク管理・危機管理の指揮をとる。
- ・ 2019年9月よりWOTA株式会社総合企画室長に着任。
- ・ 2020年9月よりBB.univ学長に就任。
- ・ 2021年4月よりWOTA株式会社防災・BCP担当室長に着任。

BCPの全体構造&今日のテーマ

第1章 BCPに関する基本的な考え方

第2章 対象リスクと被害想定

第3章 緊急時対応計画（初動対応）

第4章 非常時（災害時）優先業務

第5章 BCP活動の推進（BCPの維持管理）

「非常時優先業務」の議論がBCPの本質

災害発生
(発災)

初動対応
(応急対策)

通常体制移行
(復旧・復興)

被災により資源
(人、物、情報
等)に制約が生
じる

業務に優先順位を付けざる得ない

非常時優先業務の議論

「非常時優先業務」の全体像

時間の経過

通常業務
災害応急対策業務
災害復旧・復興業務
新規発生業務

組織管理
庁舎管理

業務に優先
順位を付す

想定外の
新規業務等

出来る限り
全ての業務
に対応する

「非常時優先業務」 検討のポイント①

- 「非常時優先業務」の用語自体やその定義を覚える必要はない。重要なのはその考え方・議論の背景・趣旨である。
- これは、災害時には全ての資源（人、物、情報等）に一定の制約がかかることから、**全てに対応することは無理なので、優先順位を予め付けておこう**という考え方である。

「非常時優先業務」 検討のポイント②

- したがって、発災後の段階を時系列に区分し、その段階・区分ごとにどの業務を実施していくかという全体的な構想・基本方針を定めておくということが「非常時優先業務」の議論である。

業務開始目標時間による整理

段階 (業務開始目標時間)	該当する業務の考え方	具体的な業務のイメージ
3時間以内	<ul style="list-style-type: none"> ● 職員・家族の安全確保 ● 初動体制の確立 ● 被災状況の把握 ● 救出・救助活動開始 ● 避難所開設 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 危機管理体制確立 ・ 情報収集→初動対応戦略策定 ・ 消火、避難・警戒・誘導 ・ 救助救急体制の確立 ・ 各種支援要請
1日以内	<ul style="list-style-type: none"> ● 避難生活の支援開始 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 二次被害防止、応急復旧 ・ 支援受け入れ ・ 避難生活支援（衣食住）
3日以内	<ul style="list-style-type: none"> ● 被災者への支援開始 ● 他業務の前提となる業務開始 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 避難生活の維持向上 ・ 財政措置の調整
2週間以内	<ul style="list-style-type: none"> ● 復旧復興の本格化 ● 窓口行政機能の回復 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本格復旧業務（生活、産業、教育） ・ 窓口業務（届出受理、証明書発行）
1ヶ月以内	<ul style="list-style-type: none"> ● 行政機能の全面回復 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 業務全体を通常体制に近づける

非常時優先業務の整理方法例

時間軸（発災後）	3時間以内	1日以内	3日以内	2週間以内	1ヶ月以内
前提シナリオ（被害想定）	<ul style="list-style-type: none">● 事態の推移（予測・被害想定）時系列に整理する● シナリオ型での整理が有効（地震、風水害、感染症パンデミックの3パターンを用意）● あまり細かい数値にはこだわらず、どのようなリスクがあるかを明確にしていく				
対応項目（非常時優先業務）	<ul style="list-style-type: none">● 前提シナリオ（予測・被害想定）をベースに、どのような対応・業務を実施すべきか整理する● その際に、BCPの基本方針に添って「優先順位」を付ける● 現実には前提シナリオとは異なる形で事態は推移するが、戦略（基本方針）は不変とし、戦術（具体的対策）を臨機応変に切り替える				

(次回予告)

BCPの高度化・レベルアップ

～非常時優先業務の整理方法を中心に～

1. 非常時優先業務整理の前に
2. 部局内優先順位と全庁的優先順位
3. 職員の参集想定との関係性
4. 大規模災害をイメージした整理の視点